
活動報告

ACTIVITY REPORT

2024 年アメリカ大統領選をめぐる
ドナルド・トランプ氏の演説戦略と有権者の評価の変容 (2)
Donald Trump's Rhetorical Strategy and YouTube Discourse
during the 2024 U.S. Presidential Election (2)

村松怜菜¹
永渕真緒¹
安藤美咲¹
中條美和²

目次³

1	はじめに	
2	先行研究	
3	仮説	
4	データと分析方法	
5	分析結果	
5.1	検証 1	ワードクラウド
5.2	検証 2	センチメント分析
5.3	検証 3	構造的トピックモデル
5.4	検証 4	YouTube コメントの分析
6	考察と含意	
7	終わりに	
参考文献		以上 (2)

¹ 津田塾大学総合政策学部総合政策学科 4 年、Rena Muramatsu, Mao Nagabuchi, Misaki Ando. 4th Year, Department of Policy Studies, College of Policy Studies, Tsuda University.

² 津田塾大学総合政策学部准教授、Miwa Nakajo, Associate Professor at Department of Policy Studies, College of Policy Studies, Tsuda University.

³ 本研究は、(1) (2) として連続して構成されている。本稿はその後半 (2) である。

5.4. 検証 4 YouTube コメントの分析

以上のドナルド・トランプ氏の 3 つの演説に対し、有権者はどのような反応を示したかを検証する。先述したように、トランプ氏の演説動画が上がっている YouTube 上の Fox News チャンネルへのコメントを分析した。なお、YouTube のコメントはもちろんのこと、Fox News チャンネルに書き込まれるコメントは必ずしもアメリカの有権者を代表するものではないこと、アメリカ国外からも書き込み可能であることに留意したい。

表 4 は対象とする 3 つの演説に対する YouTube コメントの毒性スコア平均である⁴。選挙戦中盤の 2024 年 9 月のラスベガスでの演説 1 に対するコメントが最も議論が激しく、平均毒性スコアが 0.17861 と高い傾向が確認される。選挙勝利演説である 2024 年 11 月 6 日の演説 2 の視聴コメントは支持者が中心となるため、攻撃性も低い。大統領就任時の演説 3 に対するコメントは、より多くの聴衆を得て政策への期待と批判が入り混じったことにより、再び毒性が上昇した。極端な攻撃性（SEVERE_TOXICITY）については常に 1%未満であり、これは YouTube のモデレーション（コメント削除）や視聴者の特性によって抑えられていると推測できる。

表 4 各演説に対する YouTube コメントの毒性

	平均 TOXICITY スコア	平均 SEVERE_TOXICITY スコア
演説 1：投票前演説	0.17861	0.00828
演説 2：勝利宣言演説	0.11772	0.00815
演説 3：就任演説	0.14732	0.01045

各演説に対するコメントにおいて毒性が 0.5 以上のコメントを抽出すると、投票前演説（演説 1）では、トランプ氏に対する強い批判と政治的な左右のレッテル貼りという特徴が確認される。図 8 は毒性 0.5 以上のコメントをワードクラウドにしたもの、表 5 は毒性の高いコメントの例である。“racist”（人種差別主義者）や“liar”（嘘つき）、“clown”（役立たず）といった言葉から、コメントが個人的な非難や、人種差別、政治的なレッテル貼りに集中していることがうかがえる。この演説 1 では、電気自動車の義務化の撤回や外国のギャングや犯罪ネットワークの根絶、不法侵入者への対応など様々な政策について言及されているが、それらを表す単語はコメントのワードクラウド上に見られない。ここから毒性の高いコメントが、演説の内容そのものを論理的に批判するのではなく、感情的な反発や、演説者の人格・思想を非難することに焦点が当てられていた様子が示唆される。

⁴ 2025 年 1 月末までの YouTube コメントを取得し、分析対象とした。

図8 演説1の毒性0.5以上のコメントワードクラウド

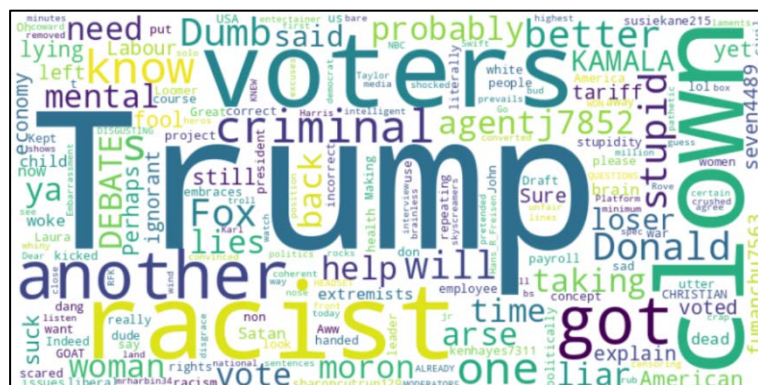


表5 演説1の毒性0.5以上のコメント例

コメント	toxicity
Fox knows that Dumb Donald is lying to the American voters, but yet they still suck up to the fool. Perhaps they should explain to the voters just what a 20% tariff will do to them and the economy.	0.6852916
@@fumanachu7563 Sure, but the ignorant voted for Labour.	0.5885171
Trump is a racist...who's better?	0.5885171
@@seven4489 only left extremists are brain dead 🤡	0.6025488
Trump is Satan's child.	0.6813380
So you're woke now 🤡🤡🤡 or just stupid	0.8299589
@@kenhayes7311 Indeed! Trump, Trump's stupidity and of course, Trump. 3 on 1.	0.7652375
@@agentj7852 probably a better use of her time than being with this clown. She's just another employee who's on the Trump payroll.	0.5727119
@@susiekane2151 I say to myself, dang, she really handed Trump his arse.	0.7510937
@@agenti7852 Oh please she got her arse kicked. 🤡	0.6898919

勝利演説である演説2に対するYouTubeコメントのうち、毒性が0.5以上の単語を抽出すると(図9、表6)、ハリス氏やバイデン氏など民主党政政治家に対する強い批判と攻撃的な表現、そして不法移民を含む人種的・民族的な差別表現が見られ、また“God”(神)への言及も多い。勝利演説のYouTube動画を視聴し、コメントを残すユーザーは熱狂的なトランプ支持者が中心的であることが推測される。

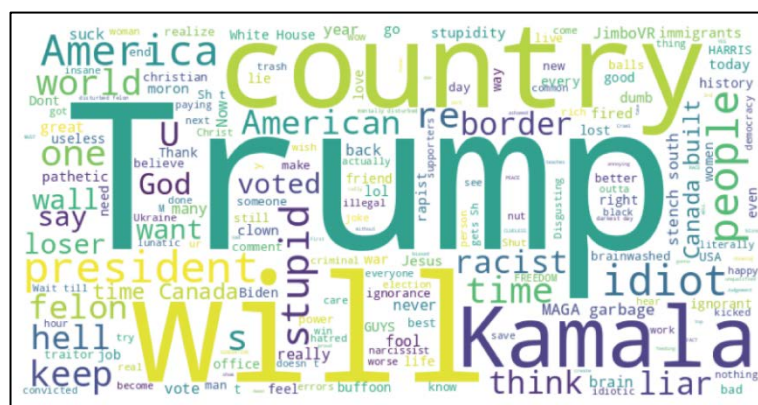


図9 演説2の毒性0.5以上のコメントワードクラウド

表6 演説2の毒性0.5以上のコメント例

コメント	toxicity
GET THE HELL OUT OF HERE 🇺🇸	0.6378294
An f*** byimnr	0.6025488
Not as useless as Kamala Biden @@_JimboVR.	0.5482330
I am so happy she is gone. She is so annoying and unqualified.	0.5435258
GET THE HELL OUTA HERE	0.6408645
illegal immigrants, you're next to be fired!	0.5180913
this is why ur mother got rpd to create u	0.5078995
TRUMP IS A MUPPET LOL	0.5213996
@@PodsaiEnjoyer and Trump will Fire the Immigrants and all Other Minorities, Right? Y'all should Thank your Master, Satan	0.5141310
Today, America is a 3rd world country led by a felon, a liar, a dictator. MTG, Boebert, Ted Cruz, a compromised Supreme Court... are in power. I am no longer proud to be American. 🇺🇸❤️ Sorry to say, but dark times are ahead. I don't even know how to fathom what will become of UKRAINE & our relationship with NATO. Today America teaches that Felons and cheaters and invaders win. Judgement day has come for America's ignorance. The uneducated, unwoke, unenlightened, ignorant have spoken. We adopt a new Christian that teaches Jesus Christ's compassion ends at the American Border and chant, "Me First." 🗣️🇺🇸 ENRAGED AND SICK TO MY STOMACH. NOT MY PRESIDENT.	0.5357944

就任演説である演説3に対する YouTube コメントのうち、毒性が0.5以上のコメントを抽出すると、トランプ氏に対する強い攻撃と侮辱的な表現が浮かび上がる（図10、表7）。就任演説動画を視聴するユーザーには選挙中の演説時よりも幅広い視聴者が含まれると考えられ、トランプ大統領に対するネガティブな感情を持つユーザーが積極的にコメントしたと推測される。

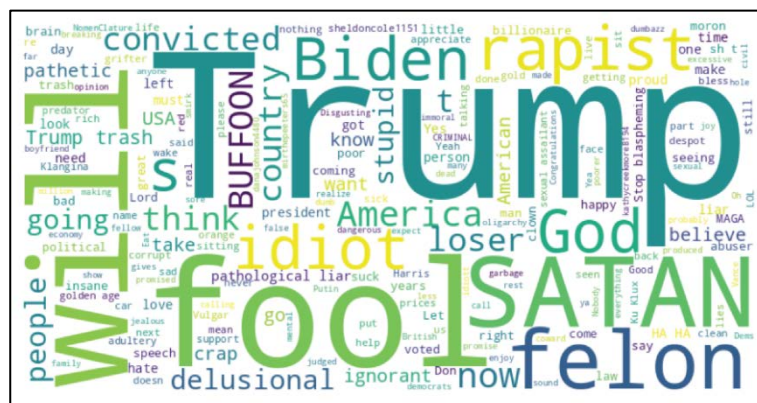


図 10 演説 3 の毒性 0.5 以上のコメントワードクラウド

表7 演説3の毒性0.5以上のコメント例

コメント	toxicity
@abelibyayan527bullshit what's that coward going to do with his tiny deformed hands	0.8115627
Let the shit show begin!	0.6588125
Like many people, your mental weakness is due to Stockholm syndrome or unthoughtful and excessive love, but this is treatable. With a little education and information (not the lies of guru Trump) could help you regain balanced mental health, and will help you get out of this collective stupidity.	0.6611249
@ stupid...	0.7176053
So you are racist and love criminals ah	0.5629963
So British are as dumb. Interesting	0.7619796
@Stacker1020 Starmer is a wanker! Trust me, you didn't need him there (👈)	0.6027529
@ no sir, it's you who live a pathetic life, jealous and pitiful. This is part of life anyone can understand and join in with pride as human beings	0.5566289
You're British, we don't want you in America!	0.5721988
This fool is SATAN. we all hate him	0.8115627

6. 考察と含意

以上の分析結果を図 11 にまとめた。選挙前の演説 1（2024 年 9 月 13 日）では、民主党への批判や対立候補の非難に加え、移民政策や経済対策といった具体的な政策が提示された。この演説動画に対する YouTube コメントの傾向は、毒性が高いコメントが多く見られ、特にトランプ氏個人への強い批判や、左派對右派の激しい論争が目立つ。

選挙勝利直後の演説 2（2024 年 11 月 6 日）では、トランプ氏と支持者との団結や、新政権としての未来志向を語ったカジュアルで感情的な内容である。対応して、YouTube コメントにおいても毒性が低いコメントが特徴的である。しかし、民主党や移民に向けられた攻撃的・差別的な発言も一部見られた。

年を改めての就任演説 3（2025 年 1 月 20 日）では、愛国心や伝統を強調し、よりフォーマルな言葉で具体的な政策に改めて言及する内容となっている。YouTube コメントは、再び毒性が上昇し、主な攻撃対象は再びトランプ氏個人に戻った可能性がある。

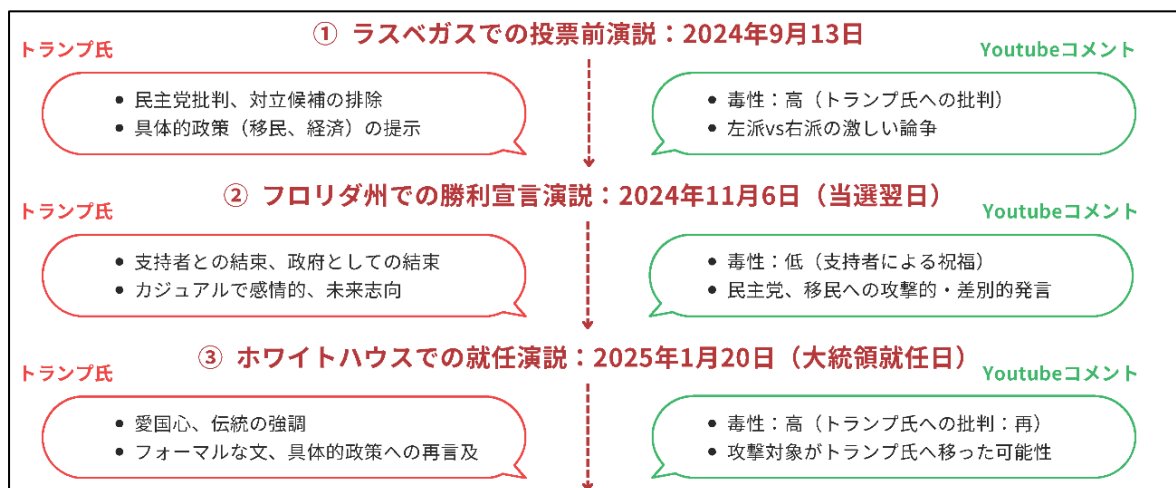


図 11 トランプ氏の演説展開と YouTube コメントの変遷

以上の傾向は、仮説 1「ドナルド・トランプ氏の 2024 年大統領選における演説は、選挙前、勝利後、就任後でその内容及び表現を変化させている」に沿うものである。YouTube のコメントは演説の内容や時期によって傾向が変化している。特に、具体的な政策について語られた演説（投票前演説、就任演説）では批判的なコメントが増加し、団結や感情に訴える演説（勝利宣言演説）では毒性の高いコメントが減少するというパターンが見て取れる。

仮説 2「有権者は、ソーシャルメディアを通じて支持候補への忠誠心を高めている」に関しては、仮説に沿う結果は得られなかった。検証 4 では、保守寄りと称される Fox News の YouTube コメントに多くの批判的コメントが確認されており、「忠誠心」とは逆の結果を示している。

加えて、先行研究での宮原（2017）の解釈では、Twitter（2023 年 7 月より X）は「独自のコミュニケーション手法」として政治的分断を助長し、支持者との絆を強める新たな政治

アプローチであったと主張している。しかし、本研究の結果から、YouTube と X という同じソーシャルメディアであっても、その利用形態には明確な違いがあると考えられる。YouTube では候補者や社会情勢、マスメディアに対する批判が自由に表出される傾向がある。ここでは、支持者、アンチ、無党派層が混在しており、建設的な議論よりも一方的な意見の発散場所として機能していると考えられる。一方、X はフォローやリツイート機能を活用することで、候補者と支持者の間の結束を強化する役割を担っている。共通の忠誠心やイデオロギーを持つ集団（サークル）が形成されやすい一方、具体的な政策議論が活発に行われているかは不明瞭である。以上から、ソーシャルメディアの種類によって、有権者と候補者との関係性や、コメントの毒性といった傾向が異なることが示唆される。

7. 終わりに

本稿は、2024 年アメリカ大統領選挙における共和党候補ドナルド・トランプ氏の演説と有権者の反応を観察するためにテキスト分析を実施した。結果、トランプ氏は演説ごとに表現やトピックを変化させていたことが明らかとなった。それが彼の意図的な戦略によるものなのか、単に性格に影響されているものなのかは、今後の厳密な検証が必要である。一方、トランプ氏の戦略に対する有権者の反応について、YouTube コメントを用いて分析したが、YouTube コメントには演説内容とは関係がない単なる候補者への批判も多く含まれており、彼の演説戦略の有効性は確認されなかった。また、YouTube コメントが必ずしもアメリカ有権者とは限らないという点も考慮する必要がある。

最後に、YouTube のソーシャルメディアとしての立ち位置を検討したい。本稿は Fox News というマスメディアの YouTube チャンネルにおけるコメントを対象としたが、トランプ氏本人はじめ個人を特定して批判の対象とする傾向が確認された。これは、宮原 (2017) が示した Twitter のインナーサークルの強化という特性と異なる。アメリカに限らず、メディアは政治を左右する大きな鍵となりつつある。分極化が進むアメリカでは、その影響は顕著だと言えよう。ソーシャルメディアが今後どのように分極化を加速させるのか、複数のソーシャルメディア、報道局、ひいては他の候補者の戦略を比較し、対象を拡大した研究を進めることが必要とされている。

参考文献

- 宮原淳、2017、「トランプ大統領の Twitter 活用:計量テキスト分析からみる特徴」、『メディア・英語・コミュニケーション』7 巻 1 号 pp.11-30. <https://doi.org/10.11293/james.7.1_11>
- Gounari, P. (2018). Authoritarianism, Discourse and Social Media: Trump as the 'American Agitator.' In J. Morelock (Ed.), *Critical Theory and Authoritarian Populism* (Vol. 9, pp. 207–228). University of Westminster Press. <https://doi.org/10.2307/j.ctv9hvtcf.13>
- Nacos, B. L., Shapiro, R. Y., & Bloch-Elkon, Y. (2020). Donald Trump: Aggressive Rhetoric and Political

Violence. *Perspectives on Terrorism*, 14(5), 2-25. <https://www.jstor.org/stable/26940036>

Nadeau, R., Cloutier, E., & Guay, J.-H. (1993). New Evidence About the Existence of a Bandwagon Effect in the Opinion Formation Process. *International Political Science Review*, 14(2), 203-213.
<https://doi.org/10.1177/019251219301400204> (Original work published 1993)